

令和7年度 しんわグループホーム事業計画

基本方針

しんわグループホームは、共同生活援助事業所として11住居 定員69名を運営してまいります。
また、介護サービス包括型として現職員が入居者への介護も含めたサービスを提供し、ご高齢の方や障がいの重い方にも対応できる体制を整えていきます。

管理者、サービス管理責任者、生活支援員、世話人が一体となり支援の充実に努めます。

7つの輪の原点のもと「自由と責任」を標語とし、「医・職・住・友・悠」の5要素を根本目標として個別的支援の充実をはかり、地域の一員として、本人が自分らしく安心して生活ができるように支援します。

推進計画

地域との連携では地域の人へのグループホームや利用者に関する理解の促進に努めます。その一環としてご本人、ご家族、地域の関係者等を含めた地域連携推進会議・見学会を年一回以上開催しご意見をうかがって参ります。入居者の重度化・高齢化及び新規入居者、障がいの重い方等の受け入れに対応すべく、健康管理と休日支援の充実を図ります。ご本人達の生活しやすい環境を求めて、既存のホームのバリアフリー化、高齢化に対応できるよう住環境の充実強化を推進していきます。新規入居者・施設入所からの地域移行者の受け入れをしてまいります。高齢な方に対しては介護保険サービスと連携し、単身生活を希望する方にはアパートの契約等を支援します。

重点目標

医	(健康の推進) ・感染症対策(消毒・うがい・手洗い)を行い、感染予防に努め、健やかな生活を推進します。 ・人間ドックと健康診断を実施し、病気を早期発見に努め、生活習慣病を予防する。
職	(働くよこびの確立) ・日中活動施設の「しんわルネッサンス」「サンメッセしんわ」及び「サンシティひらつか」との連携と調整に努め、一般就労及び福祉的就労への支援を行なう。
住	(生活のよこび) ・個々の必要に応じた支援(食生活、健康と安全、財産管理、相談支援、手続き代行等)を行なう。 ・単身生活に向けての個別の支援、アフターフォローの充実。 ・夜間支援について、職員体制を強化する。 ・必要に応じて共同生活住居のバリアフリー整備をすすめる。 (安全と安心) ・消防法令改正に伴う自動火災報知設備(特定小規模施設用)を5住居に設置。 ・スプリンクラーは1住居に設置。 ・自動火災通報装置は6住居に設置。 ・ホームセキュリティシステムは全住居に設置済み。 ・連動型住宅用火災警報器は10住居に設置。 ・エアコン・防災カーテン・防災じゅうたん・消火器具・防災用電灯ランタン全住居に設置。 ・祐貴荘イースト・ウェストをオール電化にしている。 ・交通安全教育に努めている。
友	(人とのふれあい) ・本人自治会活動の充実～運営はまず自治会役員会(毎週水曜日19:30開催)で協議する。 ・年2回グループホーム本人自治会全体会を主催して入居者の交流を深める。
悠	(文化・スポーツの振興) ・文化・スポーツ各同好会への参加に努める。 ・地域の一員として、地域行事や清掃活動等に積極的に参加する。



愛宕神社夜宮



休日外出



納涼夕食会



就労者旅行